

ありて

わたしの未来はわたしが創る

2024.3
23号

特集

「生きやすい」ってどういうこと？

～「人権」について考える～p2

■高岡市の男女平等・共同参画推進の取り組みp6

■セピア色の写真から／伊藤 冴子さんp7

■センター活動登録団体紹介 ほかp8



「ありて」は自分の力で問題を解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。



写真：雨晴海岸から見る女岩と立山連峰（剣岳）

『生きやすい』って どうなんだろう？

「人権」について考える

「個人が尊重され能力が発揮できる環境づくり」高岡市男女平等推進プラン基本目標の一つです。家庭、職場、地域などあらゆる場において、あらゆる人が等しく個人として尊重され、いきいきと豊かで健康に生活できる社会を目指し、人権尊重の取り組みを進めています。

皆が「生きやすい」と思える生活が送れるようにするために、私たちに何ができるのか、さまざまな困難を抱える人に寄り添いながらその人権を守り、支援している民間団体の代表の方に思いを伺いました。

介護する人、される人、 それぞれの人権

核家族、共働きが一般的となり、高齢化が進む現代の社会で家族に介護が必要になったとき、介護する人が個人として尊重され大きな負担を感じることなく、これまでの生活を維持することができるようにするためにはどうしたらよいのでしょうか。



男性介護者の会「みやび」
代表 平尾 隆さん

妻の介護をきっかけに、男性介護者の会「みやび」(高岡市男女平等推進センター活動登録団体)で活動をしている代表の平尾さんにお話を伺いました。

■設立のきっかけは

介護を続けて25年。現在、妻は要介護4です。最初に症状が出たのは、1999年1月。関西に住んでいた私は、妻の異変に気づき受診。検査の結果、脳に大きな腫瘍がみつかり、摘出手術を受けました。妻は介護が必要となり、私が介護、家事、仕事を一手に引き受けることになりました。

当時、私は42歳、妻は39歳。小学生の2人の息子がいて、まだまだ世話が必要でした。この頃は、家族介護は女性が担うべきものとされ、福祉関係の

相談機関に行きはしましたが、働き盛りの男性が介護を担うことが想定されず、相手にされませんでした。男女共同参画社会基本法の施行は、妻の手術の半年後です。

2000年、私は会社を退職せざるを得ませんでした。妻の手術から1年半、仕事と生活と介護のバランスをとることがどうしてもできなくなったのです。退職後、「なぜ働き盛りの男が家にいるのか」「昼間からスーパーで買い物をして恥ずかしいのか」と人としての存在を否定される扱いをたくさん受けました。

介護は女性がするもの、男性は家事をしないもの、できないものというのは性別による無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)。私はこの頃から、男性介護者への性差別を感じるようになり、その解消のため組織的に動くことと決意。2009年、京都市にある、「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」に参加し、その後、Uターンを機に男性介護者の会「みやび」を立ち上げました。

■介護する人への社会的支援を

私が、男性介護者の会「みやび」を立ち上げたもう一つの理由は、家族介護は性別に関係なく多くの人が遭遇することなのに、介護する人が社会的

に放置されていると気付いたからです。介護保険制度の有効性は認めつつ、この制度下の介護する人は、いつも元気で協力的であるという前提があります。が、実際は、介護する人も疲れもするし、病気もするし、休みたいと思うこともあるのです。私は、家族を介護する人が、個人として尊重され、大きな負担を感じることなく、これまでの生活を維持するために次の3つの社会的支援を考えています。介護者が…

- ・健康であること(健康権の保障)
- ・仕事の継続のみならず、個性と能力を発揮し、目指すキャリアを実現できること(働く権利の保障)
- ・趣味など余暇時間を確保できること(余暇の保障)

■今後の活動や展望は

右の3つの理念を具現化するため、介護生活をデザインできるツールづくりに取り組んでいます。これは工事現場の工程表のように介護のプロセスを可視化するもので、安心して介護ができるようになります。

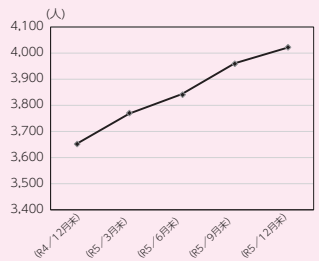
性別にかかわらず、家族を介護することを選択した人が、快適で豊かな生活(みやびな生活)が政策的に保障される社会を目指して活動していきます。

外国にルーツをもつ子どもたちを地域の力に

高岡市に住む外国籍の人は令和5年12月末時点で4,022人で増加傾向にあります。そのうち18才未満が481人で、なかには言葉や習慣の壁に悩んでいる人もいます。

言葉や文化、習慣が異なる様々な人たちが同じ地域の一員として安心して生活していくために、ともに住みよいまちづくりを考えていく必要があります。

高岡市の外国籍市民の推移



(出所：高岡市住民基本台帳人口)

■設立について

アレッセ高岡(高岡外国人の子どものことばと学力を考える会)は、2010年4月に任意団体として設立されました。2021年にNPO法人アレッセ高岡(高岡市男女平等推進センター活動登録団体となり、親が外国籍であるなど外国にルーツを持つ青少年に学習支援を続けています。

代表の青木さんにお話を伺いました。

言語の壁により成績が振るわず、



NPO法人 アレッセ高岡
代表 青木 由香 さん

自分には進学は無理だと思ってしまったことや、進学する外国ルーツの子が周りに居なかったことなどの理由で、「高校に進学する」という選択肢を持てない子どもたちが大勢いるという現状を知りました。

そんな状況を変えたいという思いから、この団体を立ち上げました。

■学習支援と「市民性教育」

活動の柱は学習支援です。対面学習とオンライン学習をそれぞれ週2回行っており、授業は学校を退職された先生などをお願いしています。

しかし、子どもたちの学習支援を続けるうちに、文化や価値観の違う国にルーツを持つ子どもたちを、日本のやり方や評価の仕方に合わせて訓練するだけでいいのだろうかと考えているようになりました。

良かれと思ってやっていることが本当に彼らのためになっているのだろうか。そういう疑問を抱きながら活動が続けていましたが、背中を押してくださる方のご協力もあり、2020

年度より外国ルーツの子どもたちが一市民として地域をつくる担い手となるための「市民性教育」の活動を始めたのです。

「市民性教育」とは、国籍などに関係なく、その地域に住んでいる人たちが仲間として地域を一緒に主体的に作っていくという意識を育むものです。その活動の一つとして、今年(2023年)7月には、外国ルーツの子どもたちを中心に、地域の人といっしょに防災イベントを実施しました。ここでハラル(イスラム教で許された)非常食があることや、宗教・文化による生活習慣の違いを紹介しました。違いを知ること、相手を理解することができ、お互いを認め合い受け入れるきっかけになりますし、外国ルーツの若者たちにとっては、自分たちが企画に加わったイベントが実現するという経験が自信となっていきます。

この「市民性教育」の活動は、2022年度国際交流基金地球市民賞を受賞しました。

また、学校や教育委員会と、より自由な活動ができる違うリソース(資源・強み)を持つ市民団体とが、協力体制を取ることには有効なことであり、このつながりをより強固なものにしていきたいと思います。

■多様性を「力」に

いろんな文化、習慣、宗教の人がお互いを理解するにはどうしたら良いか、答えがあるわけではありません。でも何も知らないで対話はできないのです。対話をするためには、まず相手を知ることから始めなければならぬと思うのです。

また、外国ルーツの人は、私たちが気付かない視点を持っています。異なる観点から問題を捉え、私たちが見出せなかった解決策を見つけることができるのです。アレッセの活動の中でもそういうことがよくあったので、もっと大きな場面でも彼らの力を活かすことができると思っています。サポートが受けられなくて進学できない子がいますが、逆にサポートがあればその子の持っている力を発揮することができるのです。

このようなことは、外国ルーツの子どもだけのことでありません。

多様性を認めて、人々がその力を発揮できるような社会にしていけることが重要と考えます。

NPO法人
アレッセ高岡の
ホームページは
こちらから！
イベント情報なども
掲載しています。

[https://
www.alece.org](https://www.alece.org)



多様な性を生きる人たちが自分らしく暮らせる社会に

性のあり方は一通りではなく、大きく分けてからだの性、こころの性、好きになる性、表現する性があります。自分のなかの性の捉え方は成長するに従って変わってくる人、弱まる人や強くなる人など様々です。

性のあり方を知り、お互いを思いやり、性の多様性を尊重することが、誰もが自分らしく生きるために大切なことではないでしょうか。

多様な性に関する情報発信や、相談窓口としての活動を続けているレインボーハート富山(高岡市男女平等推進センター活動登録団体)代表の佐脇さんとなかがわさんにお話を伺いました。



レインボーハート富山

代表 佐脇 宏史さん・なかがわさん

■性のあり方を知ってほしい

日本において、同性が好きな人や、自分の性に違和感を感じている人などの性的少数者(LGBT)の人たちの割合は、5〜10%とされています。100人がいれば、5人〜10人に相当することになりますから、「自分の周りにそんな人はいない」と思っている人は、決して「いない」のではないというのを知っていただき、自分にとっても身近な問題であると捉えてもらいたいのです。

また、性的少数者の多くの人たちは、偏見や差別を恐れて周りに言い出せずにいるのです。

■私たちの活動は…

性の多様性を理解し尊重する意識を広めるため、講演会やリーフレットの作成配布などの活動を行っています。

中学校へ講演会に行った時は、「LGBTを初めて知った」「言葉は知っていたけど意味は知らなかった」「自分も悩んでいる」「友達にもそういう子がいる」などの感想があり、啓蒙活動の必要性を強く感じました。

また、性的少数者の人たちが思いを語り合う交流会を不定期で開催しています。交流会は、そんな方たちが安

心して過ごすことができる場所です。自分の性に違和感を感じ悩んでいる人がいたら、一人で抱え込まず、私たちの交流会に気軽に遊びに来て話してください。

■理解者であるために

誰かに性的少数者である、と打ち明けられたら(これを「カミングアウト」といいます)、それはあなたを信頼している証です。気持ちに寄り添って話を聞いてあげてください。困り事など自分では対処しきれない、思ったときは、必ず本人の理解を得て、信頼できる人に相談するようにしてください。

本人の了解を得ずに第三者に伝える(これを「アウティング」といいます)と、それが原因で職場や学校に居づらくなったり、自死に繋がる場合もあります。絶対に「アウティング」はしないでください。

社会には多様な人々がいます。

自分にとっては当たり前だと思っている発言や行動が、ある人たちにとっては、気持ちを傷つけられていることがあります。これは性的少数者だけのことではありません。様々な人々がいることを皆が理解し、偏見のない社会になることを切に願っています。

■レインボーハート富山へのご連絡・お問い合わせはこちらから! 交流会情報なども掲載しています。

<https://rhtoyama.wix.com/rainbowheart-toyama>

■令和5年3月から「富山県パートナーシップ宣誓制度」がスタートしました。

<https://www.pref.toyama.jp/1711/20230130.html>



性の多様性を尊重するシンボルであるレインボーの旗やグッズを身に付けることで性的少数者の方に対して「わたしは味方」とサインを送ることが出来ます。

また、性的少数者の方を理解し、支援する人々のことを「アライ」といいます。

■LGBTとは?

次の性のあり方の頭文字を取っています。性的少数者と同義の言葉として用いられることもあります。

L: Lesbian (レズビアン=女性同性愛者)
G: Gay (ゲイ=男性同性愛者)
B: Bisexual (バイセクシャル=両性愛者)
T: Transgender (トランスジェンダー=割り当てられた性別と性自認が異なる人)
Qを加えてLGBTQともいいます。
Q: Questioning (クエスチョニング=性のあり方がわからない・あえて決めない・決めたくない人)

■「性」の構成要素

性は主に次の4つの要素で構成されており、組合せは様々です。

- ①からだの性(性的特徴)
生物学的な性
- ②こころの性(性自認)
自分が認識している性
- ③好きになる性(性的指向)
どの性を好きになるかまたはならないか
- ④表現する性(性表現)
言葉遣いや振る舞い、服装などに表現される性

DV被害者が、自立の一步を踏み出すために

配偶者等からの暴力(DV)は犯罪となる行為を含む重大な人権侵害です。高岡市男女平等推進センター相談室に寄せられるDVに関する相談は、複雑化、多様化しており、いくつもの困難を抱えている被害者には長期的な支援が必要になります。

DV被害者の個々の状況に寄り添い、安心して暮らせるようにするためには、民間団体による支援活動が重要な役割を担っています。

て何かできないかと話し合い、DVに限った支援団体を立ち上げることにしました。

暴力から離れるため何も持たずに家を出るしかない被害者が、自立するための資金がない、調停を申し立てるお金をすらない、という現状があることを市の相談員から聞き、当時、閉会することになった高岡女性の会連絡会から、礎となる寄付金を受けて基金を創設、その後は寄付を募り基金を維持しています。

■私たちの活動とは

専門相談員を通じて依頼を受け付け、生活に困窮しているDV被害者に支援金の無利子貸付や無償提供、また、食糧や電化製品、衣類などの生活必需品も提供しています。生活必需品は住まいまで運び、引っ越しの手伝いもします。



その他、DV予防啓発活動として出前講座や講演、当事者同士が語り合う自助グループ活動なども行っています。

■活動を通して思うことは

発足当初は、DVの認知度がまだ低く、また、被害者側にも原因があるの

ではないかという風潮でしたが、最近では変わってきたように思います。DV被害者が自立することができて「やっと自分の城が持てた」と喜んでもらえたときは、本当にやってきて良かったと思います。

毎年、中学校でデートDVの出前授業を行うと、「こういうことも暴力だったのか」「今度からこんなことに気をつけよう」とすぐに吸収してくれて、この子たちが大人になる頃には、社会はもっと良くなると期待しています。

DV被害をなくすためには、DVは重大な人権侵害であることを一人でも多くの方に知ってもらい、人権尊重の意識を定着させることが重要だと考えます。

高岡DV被害者自立支援基金パサパ

080-63558-0838

<http://kin-pasapas.com>

※入会や寄付については

お問い合わせください。



取材を終えて・・・

今回取材した支援団体の代表の方々がともに言われたのが「意識の改革」であったように思います。思い込みや個人を尊重しないことによる偏見、差別、暴力。私たち一人ひとりが個人を尊重することの大切さを意識し、自りに問いかけることがその解決につながるのではないのでしょうか。皆が「生きやすい」と考えることは、それぞれの人が能力を発揮し活躍できる社会への一步となる、と考えます。

男女平等推進センター相談室 (相談無料、秘密厳守)

DVや生き方、夫婦の問題等色々な相談を受けています。
(面接相談は予約が必要です)

◆相談時間

月・火・水・金	9:30~16:30
木	14:00~20:00

※相談は電話・面接ともに、土曜、日曜、祝日、毎月第4月曜、年末年始は休み

【専用ダイヤル】 ☎0766-20-1811
高岡市末広町1-7
ウイングウイング高岡6階

■暴力の種類

暴力の種類	内 容
身体的暴力	殴る、蹴る、物を投げつける、首を絞める 等
精神的暴力	大声でどなる、無視する、交友関係や電話・メール・郵便物を監視・制限する 等
経済的暴力	生活費を渡さない、仕事に就くことを許さない、金銭的な自由を与えない 等
性的暴力	性行為の強要、見たくないポルノ雑誌等を見せる、避妊に協力しない 等
デジタル暴力	携帯電話をチェックする、GPSで監視する、ネット上で悪口を書く、体の写真や動画をネットに公開すると脅す 等
子どもを巻き込んだ暴力	子どもに暴力を加える、子どもに暴力を見せる、子どもに危害を加えると言って脅す、子どもに悪口をふきこむ 等

高岡市の男女平等・共同参画推進の取り組み

男女平等・共同参画に関する計画

◆高岡市男女平等推進プラン(第2次) 後期事業計画

〔計画期間：2022年度～2026年度〕

基本目標

- I あらゆる分野において、男女が平等に参画できる環境づくり
- II 仕事と生活の調和が保たれ、男女がともに活躍できる環境づくり
- III 個人が尊重され、能力が発揮できる環境づくり
- IV 計画の総合的な推進

◆高岡市DV対策基本計画(第3次)

〔計画期間：2022年度～2026年度〕

基本目標

- I 暴力を生み出さない意識づくりの推進
- II 身近で安心して相談できる体制の充実
- III 被害者の自立を支援する体制の強化
- IV 暴力を許さない高岡ネットワーク

高岡市女性人材バンク

子育てや介護など限られた時間の中で働きたい女性や資格・スキル等を活かしたい女性が、希望する場面で生き生きと活躍する1歩を踏み出す挑戦を支援するため、「働きたい女性」と「人材を求めている企業等」を登録・マッチングする「高岡市女性人材バンク」を設置。

仕事内容

- ・短時間勤務(週20時間未満)や雇用期間が1か月未満の業務
- ・在宅ワークの業務
- ・講演会や講座の講師等、回数が限られた業務



ワーク・ライフ・バランス推進事業所

仕事と生活の調和に配慮し、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む事業所を「ワーク・ライフ・バランス推進事業所」として認定・支援。これまでに75事業所を認定。

認定要件

- 区分1 働く意欲がわく職場づくり
- 区分2 心と体の健康づくり
- 区分3 家庭と仕事のバランスづくり
- 区分4 ワーク・ライフ・バランスを実現するための独自の取り組み

上記の区分1～4の認定要件には、各々に取組項目を設けています。



(50音順 令和6年2月末日現在)

(株)アキデザイン/(株)イカイ硝子建材/石田工業(株)/一公工業(株)/エスエイチ(株)/(株)開進堂/(有)角玄工業所/(株)狩野建設/上下興業(有)/(有)技建工業/北日本興業(株)/(株)協和総商/(株)グランテック/(株)クリシマ/(福)くるみ/ケーズメタル(株)/(株)小泉製作所/幸塚汽力工業(株)/(株)コーナンシステムズ/小間印刷(株)/(株)才高/(株)澤工業/(株)三共空調サービス/(有)島田建産/清水工業(株)/(株)翔南産業/昭和建設(株)/(有)新和建設/住友生命保険相互会社高岡営業部/(株)せんだ/相互企画印刷(株)/(有)大開工業/(有)タイショウ/(株)大地/大砥運輸建設(株)/高岡ガス(株)/(株)高岡製作所/(福)高岡南福祉会/瀧根工業(株)/田組(株)/竹澤工業(株)/(株)谷口/タバタ電設(株)/中越ロジスティクス(株)/東洋通信工業(株)/(有)仁光園/西村工業(株)/(株)日東/(株)早木工業/(福)福岡福祉会/(福)福鳳会/富士コンテクノ(株)/フジサワ電機(株)/(株)フジタ/(株)フタカワ/(株)北栄商会/ホクセイプロダクツ(株)/(有)北砥ビルサービス/北日工業(株)/北陸アルミニウム(株)/北陸エレコン(株)/(株)北陸化成工業所/(株)北陸リフォーム/(株)本田ししゅう/丸進商事(株)/(有)マルタカ防災/(株)瑞穂/(株)ミヤシゲテクノ/(株)宮下組/(株)室屋/山辺事務機(株)/雄基工業(株)/吉久建設(株)/(株)レクティオ/(株)和田鉄工建設

セピア色の 写真から

戦時中、戦後そして今を生きるひとりの女性、
どんな困難な時代でも常に前を向き、
世の中の不条理に「おかしいけ？」と
問い続けた人生を振り返る。

伊藤 冴子 さん

(一九三三年)

現在の高岡市戸出大清水(旧北般若村)に生まれ、小学生の時に太平洋戦争を経験した伊藤さん。女性の政治参加を進める活動や地域活動に参画。そんな伊藤さんに戦争のこと、そして今の人々に伝えたいことをお聞きしました。

【戦争のこと】

私には中学生と小学生のひ孫がいるのですが、子どもたちにもっと本を読んでもほしいと思っています。

例えば、※1『新・戦争のつくりかた』という本です。

この本には私たちが知らない間にどのようにして戦争になっていくのか、そしてそれに気づくことの大切さが書かれています。

富山大空襲の夜(1945年)、私は11才で、庄川の堤防に上がって、明るい空にB29の機体が銀鱗を光らせるように飛んでいるのを見ていました。

とても美しかったです。

でも、その下には何万人もの人間がいて、殺されていたのです。



20才頃の伊藤冴子さん

大本営(軍の最高統帥機関)発表では、外地の部隊は退却したとは言わず「転戦した。」と言っていました。毎日どこかが空爆されたことは新聞に出ていたので、日本が勝っているとは思えられませんでした。

この時、情報を疑い真実を知ろうとすることが必要だと思いました。

敗戦(1945年)の翌年、私が小学校卒業間近、父が復員してきました。その日、先生が「お父さんが用務員室に来ておられるから、会いに行ってください。」と言われました。

びっくりして立ち上がった私の後ろの席で、ごおーという泣き声が聞こえました。きみちゃんでした。

きみちゃんのお父さんはフィリピンで戦死していました。

この時、私は足がすくんで、しばらく動くことができなかったことを今でも覚えています。身近に戦死した人が何人もいました。そして、家族にとつて、その悲しみは、ずっと消えることはなかったのです。

敗戦後、伊藤さんは、経済的にまだ大変な時代であったため高校進学をあきらめ、地元の会社就職して労働組合の執行委員として活動します。

【自分らしくあるために】

男女同権・平等と言いながら、最初から賃金格差があり、労組の執行部の女性には私だけで、お茶の当番は女性が当たり前、社会人となった私には、「おかしいけ？」と言いたいことがたくさんありました。

そして朝鮮戦争による好景気から一転、不景気となった1954年、労組の執行部の多くが解雇され、私の給与袋にも解雇通知が入っていた時、私は「不当労働行為で提訴しよう。」と言いましたが、他の執行部の男性たちは、無理だからと賛同しませんでした。

この時私は20才。

しかし、一年後に再会した執行部の一人が「やはりあの時提訴すべきだった。」と言うのを聞いた時、これからは女だからという意識を捨て一人の人間として発言しようと思いました。

私は今90才を過ぎて、本当に好きなことを言わせてもらって幸せだったと思います。

私がこんなふうになつたの思ったことが言えるようになったのはどうしてかと考えたとき、実家の祖父の存在が思い当たりました。

私が子どもの頃から、祖父は夕飯の時お酒を飲みながら、いつも私のおしゃべりを聞いてくれました。

頭から否定することはなく、最後まで聞いてくれました。大変働き者で、いつも他の人のことを思いやる人でした。私は、自分の思ったことが言える環境で育つたことで「おかしいけ？」と社会にも問いかけられるようになったのだと思います。

【そして今、人と人のつながりを大切にしたい】



伊藤さん(2023年8月)

現在もセンター活動登録団体などで男女平等社会の実現を目指して活動されています。

数年前から、私の住んでいる地域で、外国からの実習生をよく見かけるようになりました。彼らは言葉もわからない所に来て、ただ自宅と会社を行き来しているだけで、地元の私たちと全く交流がないのは、「おかしいけ？」と思いました。

私は、彼らが働いている会社を訪ね、実習生の人たちとの交流会がしたいと申し入れました。そして、近所の人たちに声をかけて町内の公民館で茶話会を開いたのです。

日本人に親しみを感じてくれれば、日本を好きになつてもらえます。相互理解することは、お互いにとって大切なことだと思うのです。そして、せっかく日本に来たのだから、日本の憲法第9条の事も知ってほしい。

この茶話会にしても、私が一人で思いつき始めたことでしたが、私の言うことに賛同し、協力してくれる人たちがいました。いつも本当に人に恵まれていたと感謝しています。

※1 『新・戦争のつくりかた』2014年

ぼん・ぶるじえくと文、井上ヤスミチ

(絵) 榎マガジンハウス(発行所)

※2 日本国憲法第9条「戦争の放棄」「戦力の不保持」「交戦権の否認」を定めている。



高岡市男女平等推進センター 活動登録団体紹介

アップル

日頃の生活や社会で問題になっていることに向き合い、様々な職業の人たちで、今課題になっていることや、これからのことについて意見を出し合い情報交換をしています。

男女を問わず共同参画し、地域でそれぞれの得意を活かして支援やカウンセリングを行うことを目的としています。

移り変わりの早い時代の変容にも対応できるように、お互いの意見を傾聴し理解すること、話し合うことを大切に、自己啓発に努めています。



NPO法人 RACDA高岡 (交通まちづくりを考える会)

万葉線や城端・氷見線などの公共交通を「まちの装置」として活用し、「人が真ん中、暮らし基本」のまちづくりを目指して活動をしています。

1998年4月に設立して、今年で25周年になります。主な活動は、

- ① 定例会（毎月第1・第3木曜日の月2回）
- ② 出前まちづくり勉強会・講演会
- ③ 各種イベント（軽快都市宣言、グルメツアー、スケッチ電車等）
- ④ たかおか朝市出店
- ⑤ 全国路面電車愛好団体等交通まちづくり団体との交流 などです。

ホームページ <https://racda-takaoka.org>



あなたの団体・グループも男女平等推進センターに登録しませんか？

男女平等推進センターを拠点として、男女平等・共同参画を推進する市民団体・グループの活動を支援します。

高岡市のホームページで、登録方法や現在の登録団体・グループを紹介しています。

～編集員ひとこと メッセージ～



市民編集員の皆さん2年間ありがとうございました。次号よりまた新たなメンバーでお届けします。

●大川 昭子

「ありて」編集を通して、社会や人々が抱える悩みや問題を知り、真摯に向き合う機会となりました。どれも解決までの道のりは遠いように感じましたが、少しでも多くの人考える場を持つことが解決の糸口になることも実感しました。編集作業に携われたことに感謝します。

●師橋 定代

2年間、編集員として取材をさせて頂く過程で、私自身、知らなかった世界の扉をたくさん開かせて頂きました。今まで当たり前だと思っていたことが、他の人達にとっても当たり前のものか？取材を通して沸き起こったこの疑問へのヒントを、取材先のQRコードの奥から見つけていきたいです。ありがとうございました。

●加藤 洋子

作家の藤沢周平氏曰く「時代の流れの中で、人間の考え方、生き方は変化を強いられ、大きく変わったかにみえるが、人間の内部、本音においてはむしろ何も変わっていない」と。国籍、人種、民族、性差、貧富、門地等々による差別や偏見が依然として根強い現実を思う時、藤沢氏の言について納得してしまう。しかしこうした世の中に疑問を抱き、異議を唱える人々が増えつつあるのも確かである。ある団体のスローガンの一つ「誰もが普通にここに居る」日は必ずくる。

●中田 洋子

「ありて」の取材は私にとって貴重な経験となりました。それぞれのテーマに即して、1年目は当事者、次の年は支援者から話を伺うことができました。困りごとにどんな支援が必要なのか当事者の声に耳を傾け、それを届けるネットワークが求められていると感じました。私自身、まずは「知ること」そして「声を出していくこと」からはじめようと。

高岡市男女平等推進プラン情報誌「ありて」は、男女平等・共同参画の推進を目的に、公募による市民編集員が企画・編集しています。

ありて キャラクターデザイン：山崎 可葉さん

発行／高岡市男女平等推進センター

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
(ウイング・ウイング高岡6階)
電話／0766-20-1810 FAX／0766-20-1815
E-mail／gec@city.takaoka.lg.jp
ホームページ／
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>

「ありて」の感想をお寄せください

- ◆ QRコードから
- ◆ E-mail／gec@city.takaoka.lg.jp
- ◆ FAX／0766-20-1815

いずれかの方法でお願いします。



「高岡市男女平等推進プラン情報誌ありて」は、2024年3月発行の23号よりメールでの配信を開始します。

メール配信をご希望の方は、件名に「ありて メール配信希望」とご記入のうえ高岡市男女平等推進センター宛に空メールをお送りください。

※「ありて」のバックナンバーは、ホームページでご覧いただけます。